

ふれあいひろば



[患者とともにある全人的医療]

放射線技術科では一般撮影装置やCT、MRIなど様々な装置を駆使して、患者さんの症状や医師のニーズに合わせて質の高い画像を提供しています！！

放射線技術科 小林 有希子

当院では2013年から新しくトモシンセシスを搭載した装置を導入しました。

主に整形外科での画像診断のひとつとして役立てられています。

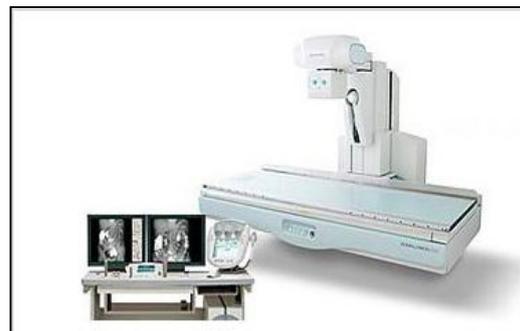
トモシンセシスとは

Tomography(断層)+synthesis(合成、融合)という意味で断層撮影に画像処理技術を加えたデジタル断層技術のことです。

一般的に股関節や膝などに人工関節や金属プレートが入った方の画像診断では、金属の部分と骨の接合部がどのように変化していくかを観察することが必要となります。通常骨折などで病院に来ると、レントゲンやCTを使って検査、診断をします。しかし部位によってはレントゲンではわかりづらいところがあったり、CTでは金属があるとその影響で周囲の骨を観察することが難しくなります。

トモシンセシスでは金属の影響をできるだけ少なくし、金属ねじの状態や緩み、骨内部と金属プレートの境界面を明瞭に観察することが出来ます。患者さんによっては被ばくを心配される方がいると思いますが、被ばく線量はレントゲンと比べると約2倍ほどですが、CTと比べると約1/10ほどで、得られる情報量を考えると非常に有用です。

トモシンセシスはレントゲンやCTなどと適切に使い分けることによって、画像診断をより確実なものとしします。

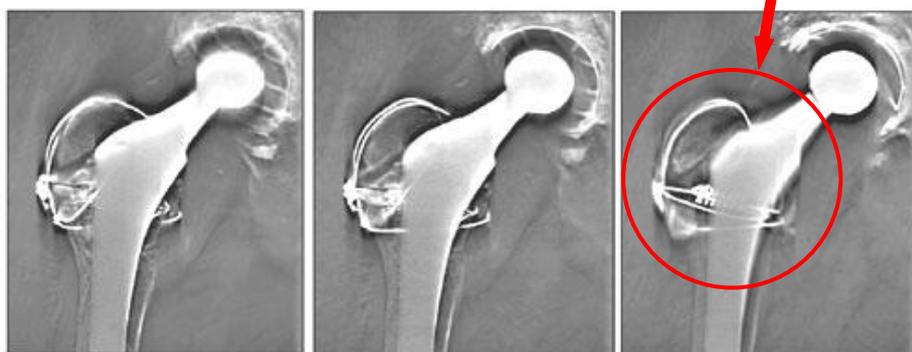


2013年10月より稼働
SHIMADZU製SONIALVISION Safire



CT画像
金属の状態がわかりにくい

トモシンセシス画像
金属の状態が
はっきりわかる



人工骨頭置換術を行った股関節の画像
(インターネットより抜粋)

ふれあいひろば

平成25年度 患者満足度調査を実施しました

経営企画課

当院は、患者さんに信頼されるぬくもりある医療の提供を目指しています。この取り組みのひとつとして、当院の医療サービスに対する「患者満足度調査」を実施し、入院732件、外来1,393件、計2,125件の回答をいただきました。調査結果をまとめましたのでご報告します。

当院に対する総合的な評価項目『全体としてこの病院に満足している』との設問に対し、肯定的な回答を頂いた患者さんの割合は次のとおりです。

入院：95.48%
 (有効回答数 708件 H24年度比 0.45%アップ)
 外来：91.61%
 (有効回答数1,264件 H24年度比 2.94%アップ)

入院は95%、外来も90%を超える多くの患者さんから高い評価をいただきました。職員の日頃の取り組みや努力を評価いただいたことを大変うれしく思います。

次に、患者さんが当院を選択した理由について、下図のようになりました。

入院

- 1位「他医からの紹介」
- 2位「医療設備がよい」
- 3位「名医・専門医がいる」

外来

- 1位「他医からの紹介」
- 2位「医療設備がよい」
- 3位「名医・専門医がいる」

入院、外来いずれも同意見となりました。地域の医療機関から紹介された患者さんを優先的に診療することによりかかりつけ医を支援するという、「地域医療支援病院」として当院が機能していること、また「重症・専門・救急」を中心とした当院の役割について患者さんにご理解いただいていることの結果と考えております。

当院の医療サービスの良い点、改善すべき点などについても具体的なご意見をいただきました。

良い点では、「スタッフが親切で明るい笑顔に励まされた」「病室・廊下が広く、院内全体が明るく清潔感がある」「設備が最新。専門医がいるので信頼している」など職員の待遇、院内施設や診療体制について評価をいただきました。改善すべき点では「診療までの待ち時間が長い」「食事に工夫が欲しい」などにご意見をいただきました。

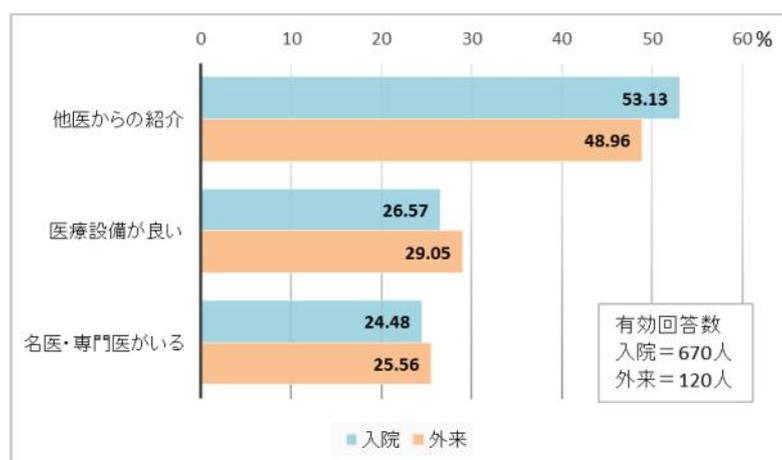
昨年に引き続き、入院、外来ともに多くの患者さんから高い評価をいただきました。また同時に、より良い病院づくりのための貴重なご意見も数多く頂戴しました。ご協力を頂いた患者さん、ご家族の皆さんにお礼を申し上げます。

皆さま方からいただいた評価、お叱り、励ましを全職員で共有し、今後とも患者さんに信頼される質の高い医療の提供に向け、より一層努力を重ねてまいりたいと思います。また日常でもお気づきの点がありましたら、院内に設置しておりますご意見箱までお寄せください。

調査結果の詳細は

当院ホームページをご覧ください

<http://www.hosp.niigata.niigata.jp/>

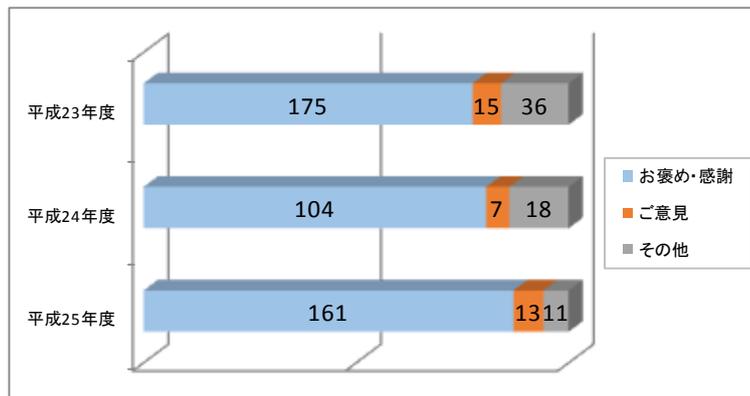


「喜ばれる病院食のために」

栄養管理科 山形 睦美

入院中の患者さんから栄養管理科宛てにたくさんのお手紙をいただき、日々の食事作りの参考や励みとなっています。ありがとうございます。近年の傾向を見てみると、喜ばしいことにお褒めや感謝のお手紙を多くいただけるようになりました。

【お手紙の件数・内容の割合】



【お手紙の一部ご紹介】

*朝昼夕、本当においしくいただきました。
『ごちそうさん』

*毎日ご苦労様です。大変おいしかったです。
今後も健康に気を付けお仕事頑張ってください。
お世話になりました。

*全ておいしく毎食完食でした。

*いつもあたたかくておいしいです。ごちそう
様です。入院中の楽しみです。

今回は「喜ばれる病院食のために」行っている、栄養管理科での取り組みについてご紹介します。

◎選択メニュー

入院中のお食事を楽しんでいただけるように選択メニューを用意しています。

- ・対象食種：一般食、全粥食、学童A、学童B、お産食
- ・種類：基本献立3種、昼夕は+5種類の定食メニューから選ぶことができます。

【当院の人気メニュー】

煮込みハンバーグ



醤油ラーメン



ミートソーススパゲティ



クリーミードリア



◎温度管理

温かいものは温かく、冷たいものは冷たく食べていただくため、温冷配膳車を使用しています。



◎各種調査

「食事についてのアンケート」（年2回実施）：満足度を把握し、問題点の改善や満足度の向上に役立てています。

「残食調査」（年3回実施）：嗜好に対する傾向を把握し、献立の改善に役立てています。

「嗜好調査」（年2回実施）：どのようなメニューが好まれるかを把握し、献立の改善に役立てています。

いつも調査へのご協力ありがとうございます！！

今後も患者さんに喜んでいただけるメニューづくりに努めてまいります。
何かお気づきの点がありましたらいつでもご意見いただければと思います。
これからもどうぞよろしく願いいたします。



診療報酬改定の概要について

～負担割合とお支払額が変更になる場合があります～

医事課

平成26年4月1日から診療報酬が改定になりました。診療報酬は、原則2年に一度行われる改定であり、今回も診察料・検査料など必要な見直しがなされました。

その中には、消費税増税に伴う点数の変更が盛り込まれており、患者さんの窓口での支払金額が負担増となるケースも多くなっていますのでご了承ください。

また、今回の診療報酬改定では、外来医療・入院医療を含めた医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実などが大きな方針として掲げられています。

外来医療については、高齢化がさらに進展する中で、まずは身近な主治医を受診し、必要に応じて大病院や専門病院などを紹介してもらう（紹介状持参）とともに、ある程度回復し、または病状が安定したら、主治医に戻って診てもらう（逆紹介）体制を整備することが重要とされています。

入院医療については、急性期の病状を担う病院機能（市民病院等）を明確化し、早期の退院・転院支援の推進、地域の医療機関との連携強化が必要とされています。

その他、軽減特例措置の見直しにより、70歳以上74歳未満の一般所得者に係る窓口負担額が、平成26年5月以降、順次2割負担となります。

◆負担割合の種類

- ・ 1割（平成26年4月1日までに70歳になった方）
- ・ 2割（平成26年4月2日以降に70歳になった方）

今後も、市民病院は地域で必要とされる医療を提供し、又その役割を果たしていくため、努力して行きたいと考えております。皆様のご理解とご協力をお願いします。

紙面の関係上、診療報酬改定の具体的項目をご紹介することができませんでした。ご不明な点がございましたら、お気軽に医事カウンターや外来受付にお問い合わせください。

登録医の紹介

医院名：新潟中央透析クリニック 医師：伊藤雅彦 中原 保太郎

診療科目：内科、人工透析科

住所：新潟市中央区柳島町3-18-7

電話番号：025-222-1185

診療時間：月～土 9：00～12：00 13：30～17：30

休診日：日曜・祝日

自院特徴と診療方針：

クリニック併設の介護老人保健施設「葵の園・新潟島」入所者に人工透析を施行しています。



市民病院のホームページもご覧ください
<http://www.hosp.niigata.niigata.jp/>

新潟市民病院 広報広聴委員会

新潟市中央区鐘木463-7

電話 025 (281) 5151

Fax 025 (281) 5187

編集後記

今回は、患者満足度調査や栄養管理科の活動について掲載いたしました。

市民病院を利用する方々が、気分よくお帰りになれると良いと思っています。

(K.W.)